委　　員　　長　休憩を解いて再開いたします。（13時56分）

158ページの教育費から199ページの予備費までの審査を行います。御質問のある委員は挙手をお願いいたします。

平　野　委　員　161ページのスクールバスのところで聞けばいいのかな。ちょっと学校…中学校のバスのことなんですけれども。これ、例えば急病になっちゃったとか、緊急時はどうしていらっしゃるのかを、ちょっと教えていただきたいと思います。

それから、187ページの真ん中辺りに給食室のエアコン設置工事というのが、これは幼稚園だと思うんですが、幼稚園ではやられていて、小・中ではどうなっていたかをちょっと確認したいんですが。というのは、やっぱり今回、夏休みの給食があったので…夏休みじゃなくて、夏の給食があったので、現状どうだったのかなというのがちょっと気になっています。

それから、191ページの上のほうなんですが、毎年これある洋上体験研修の事業費負担金、これはどんなことをやって、そして参加者はどのくらいいるのかというのを教えてください。

それから、193ページの図書館なんですけれども、恐らく真ん中辺りの需用費、消耗品のところで新聞・雑誌を買われているはずです。それからあとは図書費は18番の備品図書費で買われているはずなんですが、ここはいつも気にしているところで、予算をなるべく毎年毎年、少なくしないでねという感じで何か私が頑張っちゃうところなんですけども、今回不用額になっちゃっているので、ここは非常に気になります。どうしてだったのかとかを教えていただきたいと思います。

それから、その同じページで言えばいいのかよく分からないんですが、上のほうが公民館費になっているんですが、今回また生涯学習のね、条例が出ていますけれども、利活用していくんだということで、今、文教総務でも審査になっていると思うんですが、たしか何か条例案にも出てないし、規則にも出てなかったんですが、プロジェクターというのが貸せない状態なんですね、今ね。何度か貸してくださいというふうに、教育委員会の持ち物を貸してくださいというふうに借りたことはあるんですが、何かそれが何ていうのか、公的なあれではないので、どこの団体が借りたいと言っても貸せるようにするには、やっ

ぱり備品として備えなきゃまずいんじゃないかというのがあるので、ちょっとこれは要望になっちゃうんですが、ちょっとその辺、どう対応されているのかを教えてください。

それから、195ページで、これは地域の文化活動のところかと思うんですが、松田サミットがやっぱり最初の予算に載っていたかなと思うんですが、消えているのはやっぱり何でなのかというのを、できなかったんだろうなと思うんですが、ちょっとそのところを教えてください。以上です。

学校教育係長　まず、議員御質問ありましたスクールバスの緊急性についてでございますが、これは安全面等の話でよろしいでしょうか。

平野委員　途中で帰らなきゃいけないといったときに。熱が出ちゃったとか。

学校教育係長　すみません。ドライバーさんの緊急時に対してなんですけども、風邪を引いたとか体調を崩したとかという場合には、代わりの…。

平野委員　そうじゃないです。生徒が。中学の生徒が途中で帰らなきゃいけない状況になったとき、どうしているのかなと思って。（「早退」の声あり）そうそう、早退、早退。

教育課長　子供たち、生徒が急に具合が悪くなったりということですが、これについては先生から保護者のほうに連絡していただきまして、迎えに来てもらうと。または、保護者が不在のときは、そのまま少し学校のほうに待機していただきまして、連絡がつき次第、迎えに行ってもらう。そういった対応をしておりますので、個別にバス１台、１人という対応は現在はしておりません。

次の、給食費のエアコンにつきましては、議員さんの御質問のとおり、松田幼稚園には給食室にエアコンを入れさせていただきました。ほかの学校につきましては、今、給食設備があるところが松田小学校、寄小学校、松田中学校でございますが、寄小学校については、あるんですけど、ちょっと使えないような状況にありまして、松田小・松田中につきましてはエアコンがないという状況にあります。８月に授業をやったということで、ちょっと遅くなりましたが、今、扇風機、大型扇風機を発注しまして、対応できるようにして、もう納入ということで、そういった準備をいたしました。こんな状況でございます。

施設管理係長　先ほど課長の遠藤のほうからエアコンについての御説明をさせていただきま

したが、学校のほうにですね、エアコンがいいか扇風機がいいかという、ちょっとアンケートじゃないですけど、問合せをしましたところ、エアコンですと１か所が集中的に冷たくなってしまうというのがあるので、気流が動く扇風機のほうがよいということもございましたので、今回扇風機を御用意させていただいた経緯がございます。以上でございます。

生涯学習係長　まず、洋上体験ですね。洋上体験につきましては、１市４町１村ということで、秦野市、松田町、中井町、二宮町、清川村ですね。ですけども、松田町の割り当て、10名の割り当ていただいています。実際の参加者５名ということで、差額の５名分については負担金として行っていると。東海大の「望洋丸」ですかね…「望星丸」ですね、「望星丸」で新島に２泊３日ということで、体験ということで行っている事業でございます。よろしくお願いいたします。

引き続きまして、図書館のほうの不用額でございますが、当然図書館の職員、司書を含めてですね、選書しておりまして、予算のほうも伝えた中での選書を行っているところでございます。やみくもにいろいろ買ってもというところもございますので、慎重に選書をというようなところを依頼しているところでございます。限られる予算で有効に使わなきゃいけないと思ってますけども、そういった中での不用額というようなことで御承知おきいただければと思います。

続きまして、プロジェクターですけども、プロジェクターにつきましては議員も言われたとおり、今は完全に事務所の備品として、町の事業で使っているというようなことで、貸出しの規定はございません。そこにつきましては、今後、規則の中で貸し出すような規則としていくのか、ちょっとまた課内含めて調整をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最後、まつだサミットにつきまして、予算ではお認めいただいていたところでございます。文化財保護委員のほうも、いろいろお話をさせていただいた中で、以前、28年度でしたかね、行わさせていただいたときの反省点等いろいろ踏まえた中で、ちょっと物事を慎重に進めましょうと。当然、貴重な機会なので、そのときには文化財保護委員中心となって、要望をさせて…こういうのを開きたいというようなことで、要望をさせていただきたいというような今お話も上がっているところでございます。そういった中で、今回はちょっと見送り

をさせていただいたというようなところでございます。よろしくお願いいたします。

平　野　委　員　お答えありがとうございます。バスに関してですが、もちろん一人一人が乗るバスというのは本当にちょっとね、不経済だし、ちょっと考えられないと思うんですけども、もし保護者になかなか連絡がつかないというような場合ですね、やっぱりこれはタクシーとかと協定しておけばどうなのかなというふうにちょっと思います。山北だったかがたしかそれをやっていると思うので、ちょっと調べていただいて、制度的なことを。ちょっと工夫したらどうなのかなというふうに思います。それはちょっとまた要望なので。

それから、エアコンのことは心配をされていたんですが、給食員さんのほうでエアコンよりも扇風機のほうがいいというお声があったというふうなことを聞いたので、これはそれでよかったのかと思いますが。私は逆に、扇風機だと火を使う場所だとね、逆に危ないんじゃないのって、ちょっと心配していたものですから。でも、現場の方のほうが、そっちのほうがいいと言うんなら、まあそれはそれでいいのかなと思います。

洋上体験のことは分かりました。

そして、図書館のことですね。不用額になってしまって、また次年度の予算をちょっと心配してしまうんですけども、ちょっとそこは確保していただきたいところです。やはり私も選書をされていた元職員の方が、もう今、いられなくなって、パートの方たちを中心にグループ選書しているというのはちょっと聞いているんですね。その選書が、前の方もすごくいい選書をされたなというふうに感じていたんですけども、それがどうなるんだろうと、ちょっと心配していたら、グループの選書になってもすごくいいんですよ。新しいところも、それからすごく何ていうか、人権的な部分とかも、すごく気をつけながら、いろんなところから選んでいるというのが。だから、多分グループでそれをやってるということは、時間かかって、それこそ慎重に選書されているんだろうなと思って。なので、慣れてくればもう少しはかどるかと思いますので、ぜひこれは予算また削らずに、ちょっと対応させていただいてと思います。要望です。

あと、プロジェクターの件なんですが、借りるほうの立場からすると、どこ

の備品だなんていうことは一般の方は分からなくてね、あそこにあるのに何で貸してくれないのみたいな感じになっちゃうので、ぜひこれから生涯学習センターとして活用していくんだという方向性があるならば、やはりこれは貸し出せる、さっきのね、Ｗｉ－Ｆｉのルーターの話と同じですが、貸し出せるというようなひとつ決まりを作っていただければなというふうに思います。これも要望になります。

　サミットに関してはですね、慎重に進めることになったということで、私もそれはいいことだと思いますので、またこれは協力者等を募りながら、せっかく全国に呼びかけたまつだサミットなので、何かちょっと第二弾みたいなのがつながるといいなと思いますので、ぜひまた頑張っていただければと思います。全部要望になりました。申し訳ない。終わります。

委　員　長　　ほかにございますか。

古谷委員　　今のスクールバスの話がちょっと出たので、確認だけさせてもらいたいと思います。私も昨年１学期だけですね、スクールバスの運転させていただきました。そのときは、こういうコロナ禍ではなかったので、別に朝６時に行って、事務所入って鍵持って出てというスタートだったんですけれども、今、コロナ禍ですので、ドライバーのですね、体温測定、この辺がどうなっているか、ちょっとお聞きしたいのと、私がやってるときには前日のアルコールについては大分控えてしてましたけども、もし残っていた場合に困りますので、アルコール検査、この辺はされてないんじゃないかなとは思うんですが、ここ、どのような考えがあるかお聞きしたいと思います。

委　員　長　　お願いいたします。

学校教育係長　　先ほど御質問のありました件につきまして、ドライバーさんの始業前の、コロナ禍の中で、町職員と同じように朝熱を測って、37度５分ですか、それ以上になったら出勤させないという措置をとる予定ではいたんです…とる感じではいたんですけども、今のところ、幸いそういった状況はございません。かつ、アルコールチェックにつきましては、ちょっと正直実施はできてないところもあるんですが、前の日に飲み過ぎないようとか、いろいろ口頭ではありますが、教育委員会のほうからそういう指示、指導させていただいているところであり

ますので、そういったところも今のところですが、まだそういったことは出てないということで報告を受けておりますので、引き続きアルコールチェックも含めて考えていきたいと思っております。

教育課長　先ほどのコロナウイルスの対策ということで答えさせていただきます。始業前に十分に点検をした後にですね、子供たちが乗るんですが、その後はアルコール除菌と換気、十分な換気をしたりして、次の今度は松田中学校に通われる子供さんのために、そういった十分な対策をとっております。

また、降ろした後も同じように繰り返しの作業を行っております。そういったことで十分な対策をとっております。あとは、座る位置も横にしない、席を離したり、そういった対策も、密にならないような対策、３密にならないような対策をとっております。以上です。

古谷委員　よく分かりました。何か事故があってからですと大変なことになりますので、ぜひですね、アルコールチェックも含めて、また再度検討のほうお願いしたいというふうに思います。以上です。

委員長　ほかにございますか。

内田委員　２点ほどお願いします。ページ191ページの青少年指導員の報酬とありますね。12名の。青少年指導員というと、読んで字のごとくね、子供たちのいろんな活動の補助をするというかね、ことをやってますけど、そのうちの一つの一大イベントがキャンプだと思うんですよ。夏の青少年キャンプ。昔は５年生、６年生を対象だったんだけど、今、４年生からやってるのかな、参加を。その今現在行っている４年生から６年生の参加人数、それと今、実際にどのような場所でキャンプをやっているかというのが１点。

それと、ちょっと先ほど平野委員さんが洋上体験のお話ししたんですけど、私も３回ほど行きました。それはもう今から十何年前から始まったのかな。正直言って、これ、秦野市のおつき合いなんですよ。秦野市が東海大学とそういうようなことをやろうということで、それで声がかかって、松田町ものっかったというのが当初で、参加費は今はどうか分からないですけど、子供１人２万円なんですよ。参加するのにね。最初のスタートのときは、やはり人気があって、人数を制限するほどだったんですけど、今聞いたところ、５名なんていう

ね。多分ここ最近、10名には届いてないんじゃないかと思うんですよ、実際の話が。もう、あとのこの委託料のほとんどが東海大学の船の「望星丸」の負担金なんですね。出してもらうための。だから、秦野市も何とか続けてくださいということで、その各１市４町１村がおのおの負担金を出して東海大学の船を出すための費用としてね、支払っているという現実がありますけど、もうそれだけの参加者が減ってきている中で、もう10年以上たてば、もうそろそろいいんじゃないかという気持ちがあるんですけど。その点、２点についてちょっとお伺いしたいと思います。

生涯学習係長　１点目、ジュニアキャンプのほうですけども、昨年については参加者22名になっています。場所については、山北町の中川の奥のほうですね。大石キャンプ場というキャンプ場のほうで行わせていただきました。場所については、その年度年度でいろいろ探しながらというところで決めているところでございます。今年度については、参考までに、ちょっとキャンプは難しいというようなところで、ちょっと子供たちのメニューづくりということで、今、ジュニアリーダーとしてですね、年間活動をできれば、実際半年になっちゃうんですけれども、半年の活動をですね、できればなということで、今、集めさせていただき、これから事業を行っていきたいというようなところで今、考えているところでございます。

２点目、洋上体験ですけれども、議員おっしゃられたとおりで、参加者が少なくなり、参加者が少ないと差額の負担金が発生するというようなところになっている。これ、県の補助事業にもなっていまして、県の補助が来年で終わりのものです。それに向けての話は、やはり担当者間でされている中で、今年こういう状況下になり、新島のほうでもちょっと来ないでくれというようなスタンスで、今年は行われない。来年に向けても、ちょっと厳しいんじゃないかというような見込みになっているので、かといって船の上だけというわけにもいかないので。ということで、今後の開催はちょっと厳しいんじゃないかというのが今、担当者レベルでの調整の内容になっています。またその辺、決定しましたら、お知らせをさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

内　田　委　員　　結構です。分かりました。

委　　員　　長　　ほかにございますか。よろしいですか。それでは、ないようですので、教育費から予備費は終了いたします。

暫時休憩いたします。職員の方は入れ替わってください。次は課長職は出席をお願いいたします。そうしましたら、25分で大丈夫でしょうか。30分。30分からお願いいたします。　（14時22分）